



ひとひと 女・男 ひろば

<最終回>



これからの男女共同 参画社会に寄せて

新津市女性懇話会
会長 高橋 綾子さん

「できる事を、できる時に、できる人がする」。これが私の考える「自由な社会」です。性別が「男だから」とか、「女だから」といって、その人のできる事を阻んではいけないと思います。ただ、一つ心に引っ掛かるのは「平等、平等」と叫んで性差を無視するのは、逆に負担を強いることになり、暮らしにくい社会を生むのでは？という不安です。

女も男も、老いも若きも、みんなが平等です。とはいえ、男女間の体力の違いや個人の得手・不得手、加齢による体力の違いなど個々の違いはあります。その違いを認識した上で、だれもが自由に選択し、行動できることが男女共同参画につながるものと思います。

性差を認めた上で、できる事をできる人がするのがいいですね。そして、今までの価値観や性差を超えて何かに挑戦した人がいたら、せっかくの勇気が尻すぼみしてしまわないように、外野は口をささず見守りましょう。世の中は、お互いさまですから。

新津の文化財

(最終回)



市指定文化財 澤田家能代川堰関係資料 二十六点

所在地/新津市草水町三丁目六四五一番地
所有者(管理者)/澤田 威

天 正八(一五八〇)年澤田家の祖、半右衛門から昭和十六(一九四一)年二十七代正一郎に至るまで歴代にわたり保存収蔵してきた能代川堰に関する文書、絵図などの記録です。
能代川堰の起源とその変遷や、村落の開墾と耕地の拡大、堰の营造技法と関係住民の負担、堰をめぐる上流と下流の住民の動静などが記され、戦国動乱期から幕末期にわたる新津付近の水利や治水を知る上で重要な資料となっています。



市指定文化財 満願寺稲架木並木 一個所

所在地/新津市大字満願寺
所有者(管理者)/満願寺農家二十六軒

満 満願寺の集落から市街地へ通じるおよそ一キロ以上に及ぶ直線道路の両側に立ち並ぶ約千本のはさ木並木は、蒲原平野の典型的な農村風物詩として訪れる人も多い場所です。
はさ木とは一列に植えられた木々の間に竹などを何段かにくくり付け、刈り取った稲を掛けて乾かすためのもので、昔は県内のどこでも見られました。
このはさ木並木は、昭和十八(一九四三)年から三年間にわたり水田の区画整理を行った際に、散在していたはさ木を移植したもので、県下でも数少ない大規模な並木となっています。

新津市の人口

	平成17年1月31日現在(前月比)	前年同月比
男	32,715 (- 4)	(+117)
女	35,444 (+ 10)	(+244)
計	68,159 (+ 6)	(+361)
世帯数	22,192 (+ 15)	(+453)
1月中の動き		
出生	31	死亡 61
転入	106	転出 70
結婚	10	離婚 5

好きです！きれいなまち・新津

ポイ捨てしま宣言!!

ポイ捨てしませんヨ!!



持ち帰り

新津市内では、空き缶やタバコの吸い殻、ガムなどのポイ捨てが、条例により禁じられています。
※市民と市内通行者に適用

違反者には 指導・勧告・命令
…最終的には 5万円以下の罰金

市民生活課
環境衛生係
☎24-2111
内線232